

一般質問通告書

通告順番 1 番
 通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. こども医療費助成対象年齢拡大について</p>	<p>(1) コロナ禍で収入が減少している家庭ではこども医療費が大きな負担になっている。 一方、コロナ禍での受診控えにより医療費が抑制されている現状もある。 コロナ禍の支援策として無償化の対象年齢を引き上げるべきである。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 外国人への多言語化した行政情報の提供について</p>	<p>(1) 外国人は、本町と母国で少なからず違いを感じている。 特に生活に密着するゴミ出しのルールは、そもそも母国にはない習慣なので戸惑うことが多い。</p> <p>① 町内にお住まいの外国人のために、家庭ごみの分別方法や出し方について記載している「家庭ごみの出し方マニュアル」を多言語化したものを作成し配布すべきではないか。</p> <p>② ごみ出しアプリと指定ゴミ袋の記載事項を多言語化すべきではないか。</p> <p>③ 多文化共生社会の実現に向けて、多文化共生推進プランを策定し、まずは医療、子育て、福祉等に関する行政情報の多言語化を強力に推進していくべきではないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 1 番
 通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 災害ボランティアへのサポート体制構築について</p>	<p>(1) いざという時に、多くの町民が自発性や主体性を発揮できるよう、①意欲のある個人または団体に事前に登録をいただくことで、災害時の支援活動を円滑に、効果的に行うことや、普段から災害ボランティア相互の連携協力を進めるためにも、災害ボランティア登録制度を創設するべきではないか。②ホームページやSNS等を活用し、募集の呼び掛け、被災地の状況、活動内容等を積極的に情報発信するべきではないか。③ボランティアバスを運行させるなどボランティア活動へのきめ細やかなサポート体制を構築するべきではないか。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. GIGAスクール構想の成功へ、宝の持ち腐れを防ぐ取り組みについて</p>	<p>(2) 今の学校は、学びの選択肢があまりにも少ないことに問題があり、オンライン授業やITを活用した自宅学習は学びの選択肢が広がるという意味で、時代に合った良い取り組みだと思う。 文科省は2005年、不登校生がインターネットなどを活用して自宅学習をした場合、一定の要件を満たせば校長の判断で出席扱いにする通知を出している。 2019年10月にも改めてオンライン学習を出席扱いと認めるよう通知している。 GIGAスクール構想により、全ての小中学生に1人1台の端末が整備されることを踏まえ、①子どもたちの学びの選択肢を増やすためにも、学校に行かなくてもオンラインで授業を受けられる環境を整えるべきではないか。②希望する不登校の子どもたちが、オンラインで授業を受けた場合に出席扱いになる取り組みを進めるべきではないか。</p>	<p>教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 校舎の建て替えと校区の見直しを	<p>(1) 35人学級法案が閣議決定された。小学校全学年、25年度までに35人学級クラスになり、町は新たに教室の確保問題が出てくる。</p> <p>我が町には、震度6強の熊本地震で被害を受けた校舎で授業をし、校舎自体も、築年数40年を過ぎた校舎がある。築50年大津東小学校、築43年大津南小学校、築41年大津北小学校で、建て替えを考える時期に来ている。地震での被害がある大津中学校も築38年である。</p> <p>又、建て替えを見据えた中、校区の見直しも同時にするべきである。</p>	町 長 教 育 長
2. 大津町独自の工業団地造成を	<p>(1) 九州高速道路の北熊本スマートインターから地域高規格道路「中九州横断道路」大津熊本道路9.1Kが本年度事業化が決まった。</p> <p>杉水公園インターから菊池市川辺工業団地の間、約10ヘクタールを町で工業団地造成をする考えはないか。</p> <p>ただ、そこにはNHK電波塔があり、土地の有効活用ができないため、NHKと移転交渉をしてもらいたい。</p>	町 長
3. 成人式開催有無について	<p>(1) 3月6日の熊日で大津町の成人式は5月2日に開催と有った。</p> <p>5月2日にコロナ第4波で開催できない場合は、取りやめるのか。</p>	教 育 長

一般質問通告書

通告順番 3 番
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 施政方針をうけて</p>	<p>(1) 「子育て支援・教育環境日本一のまちづくり」の中でなにを先行して行うのか。今なお収束の兆しが見えないコロナ感染症によって、多くの子育て世帯は収入の減少等に直面しており、世帯収入の減少を踏まえた支援が必要と考えるが、町長の考えを聞きたい。</p> <p>(2) 「活気とにぎわいを生む仕組みづくり」の中にスポーツの森駅の新設・巡回バスの実現やアウトレットモールの誘致とあるが、実現に向けたタイムスケジュール等を聞きたい。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 循環型・低炭素社会の実現に向けて</p>	<p>(1) 新しいごみ焼却施設・菊池環境工場クリーンの森合志が運営を始めた。だが、内牧・外牧や美咲野等からは焼却施設が遠方となり不便を強いられ非効率的であり交通渋滞の原因にもなる。また、現在、廃棄物収集運搬に係る作業員がコロナ感染リスクにおびえながら作業している。これらのことを踏まえ2点質問する。</p> <p>① 効率的なごみ収集・輸送とさらなる広域化に対応したごみ中継施設（サテライトセンター）の導入を。</p> <p>② 一般廃棄物収集運搬に係る災害及び感染症発生時の対策を問う。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 3 番

通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
3. コロナ禍の貧困対策を	<p>(1) 町民との対話の中で日々の食事にも事欠くと言う話を聞いた。今、本町でも静かに貧困が広がっているのではないか。SDGs 17の持続可能な開発目標に貧困をなくそうが一番初めにあり、本町でも、あらゆる次元での貧困撲滅のための計画や政策が必要ではないか。 このことを踏まえ2点質問する。</p> <p>① 明石市では、市が設立者となりこどもの居場所づくり事業（こども食堂）を始めている。本町でも「子どもを核としたまちづくり」を進めるべきではないか。</p> <p>② コロナ禍の今だからこそ「フードバンク」や「フードドライブ」の設立が必要ではないか。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 4 番
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. コロナを含む自然災害から命と暮らしを守る政策を急ぐべき</p>	<p>(1) コロナウイルス、第4波対策 PCR検査を希望する施設、職員に無料実施を。 (2) 水害対応 台風災害予防は待ったなしで具体化を。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 新型コロナ禍のもと、困窮者支援の具体化を</p>	<p>(1) コロナ禍の下で、生活に困窮する人たちに、町長が掲げた公約の早急な具体化が求められている。 給食費の無償化 18歳までの医療費無償化 業者への支援など</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 熊本地震の後始末</p>	<p>(1) 国道57号北側復旧道路が完成した。地震からの復旧復興のシンボルともいえるが、熊本地震で国道の代替えとなったミルクロードの沿線住民は災害対応で我慢を重ねてきた。 県と国による広域の要望はかなったかもしれないが、沿線住民の意見要望には応えられてはいない。町は未曾有の災害に協力した沿線住民の要望実現を県と国に強く対処するべきではないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 5 番
 通告者 佐藤 真二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 個別施設計画（案）について</p>	<p>(1) 個別施設計画（案）が示された。 公共施設、中でも急務である学校施設の改修整備については議会からも強く要請している。 また熊本地震以降、新たな公共施設が増加しており、旧来の施設の活用についても十分とは言えない。 個別施設計画（案）にはまだ検討すべき点があるのではないか。</p> <p>① 施設の在り方そのものを検討すべきもの ア 学校（校区）、幼稚園 イ 計画どおりの活用がなされていない施設</p> <p>② 優先順位が不規則である理由は</p>	<p>町 長 教 育 長</p>
<p>2. 復旧・復興計画の期間終了後の取り組み</p>	<p>(1) 復旧・復興計画の5年が終わるが、復興が完了したのではない。 5年間の総括的な受け止めと、積み残された課題をどう捕捉しどう対応していくか。</p>	<p>町 長 教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 6 番

通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 所信表明について	<p>(1) 民間人材の登用を基本方針の第一点、と挙げておられるが、行政に携わらない他公務員職の人的資源は多様に存在しており、専門的知識を有したプロフェッショナルたる他公務員職の採用を経ずしての軽易な民間登用は避けるべき分野もある。 民間企業経験者等の採用に関する考え方を伺う。</p> <p>(2) 個別方針の二点目に示された「命を守る徹底した防災・防犯対策」について警察・消防・自衛隊・県の各関係機関等と地域とどのような調整や施策を実施されていくのか伺う。</p>	町 長
2. 無投票となった町議選挙について	<p>(1) 平成29年2月5日投開票の大津町議会議員選挙の投票率は51.21%と過去最低を記録し、今般の町議会選挙についてはついに無投票となった。 また、町長選においても投票率は減少の一途を辿っており、今事象については昨今の政治不信や町議会に対する期待や関心の希薄さの表れを如実に示したものと思料。 今後の選挙制度に関する町民へのアピールのあり方を伺う。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 6 番

通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
3. 中九州横断道路整備と都市計画の位置づけについて	<p>(1) 県北広域本部が示した大津都市計画区域マスタープラン（案）において、エコ・コンパクトな都市づくり、活力ある都市づくり、都市防災機能強化が課題とされている。</p> <p>大津町においても現在進捗している中九州横断道路の整備促進と相まって都市計画マスタープランを深化されていくことになると思うが、中九州横断道路の結節たる大津 I C とスポーツの森間の道路整備や肥後大津駅前を中心とする町の賑わいの創出についてどのように進めていかれるのかを伺う。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 7 番

通告者 田代 元気 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 新型コロナウイルスワクチン接種について	<p>(1) 接種開始はいつから開始されるのか。又、一般の町民の接種はいつになるのか。</p> <p>(2) 接種会場は。</p> <p>(3) 町内在住者が町外で、又、町外在住者が町内での接種を希望する場合の対応は。</p> <p>(4) 接種開始後、町外への転出、又、町内への転入者への対応は。</p>	町 長
2. 小学校部活動の社会体育への移行後について	<p>(1) 小学校部活が社会体育への移行後、2年が経過しようとしているが活動の成果と現状はどうなっているのか。</p> <p>(2) (1)を踏まえて、今までの反省と今後の課題について町はどのように考えているのか。</p>	教 育 長

一般質問通告書

通告順番 8 番

通告者 三宮 美香 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 小中学生の荷物の重さとICT化の期待効果について</p>	<p>(1) 小中学生が通学するときの荷物の重さを懸念する声が数年出ている。2018年に文部科学省が全国の教育委員会などに向けて「児童生徒の携行品に係る配慮について」とした通知を出された。同時期、一般質問でも取り上げ、教育長からも前向きな回答をいただいたと認識していた。しかし2年経過した現在でも荷物の重さは変わらず重く、保護者からは子どもの健康面についての心配、子どもたちからはカバンの破損や頭痛などの訴えが聞かれている。</p> <p>①2018年の文科省からの通達以降の大津町の取り組み</p> <p>②現在の荷物の重さと保護者・児童生徒の声をどう受け止めるか</p> <p>③今後、考えられる取り組み</p> <p>④ICT化により荷物の重さは変わるのか</p>	<p>教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 8 番

通告者 三宮 美香 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
2. 小中学生の校則について	<p>(1) ここ数年、ブラック校則に関する話題がニュースで取り上げられている。文部科学省によると校則とは「児童生徒が健全な学校生活を営み、よりよく成長・発達していくため、各学校の責任と判断の下にそれぞれ定められる一定の決まり」とされている。校則は気持ちよく学校生活を送るためのルールだと思うが、大津町でもその校則に対して疑問の声が上がっている。現在、子どもの権利条約によって、子どもの基本的人権を守ることが求められている。昔からある校則の中にはそういった点で改善が必要なものがあると思われる。現代の社会状況に合わせ校則をより良いものに変えていくことが求められているのではないか。</p> <p>①現在の校則の問題点（下着の色や頭髪、靴下などについて）は認識しているか</p> <p>②校則について大津町のスタンス（基本方針）を確認したい</p> <p>③校則に対する児童生徒や保護者の意見を聞く機会はあるのか 行われているならば、どういう形で進められているのか</p> <p>④校則に対して町教育委員会と各学校（もしくはPTA）との意見交換は行われているのか。行われているならば、どういう形で進められているのか</p>	教 育 長

一般質問通告書

通告順番 9 番

通告者 永田 和彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 選挙公約と施政方針について	(1) 任期四年間の工程表。 (2) トップセールス。 (3) 組織改革（民間の発想）など。	町 長